



全国施設電気部会

九州地本技術部会は、門司機関区、小倉車両所、福岡総合鉄道部の3職場、66名の部会員で構成されています。

昨年12月に第26回九州地本技術部会定期委員会を博多発揚ビルで開催し、経過及び1年間の活動方針を決定しました。

全国技術部会・菊地事務長は、「基地廃止やタスクフォースの問題」、九州地本技術部会定期委員会では、「たしるお応援プロジェクト」について中心に挨拶がなされています。

最近の検修職場はタスクフォース・効率化が確実に進められており、要員不足、技術継承が問題になっています。こうした現状の中で定期委員会であったが、質疑時間が足りないうちに成功させました。どの職場も要員不足によって教育

# 職場からの挑戦

## 新施策の検証課題

全国施設電気部会は、全国の保全職場の職種別部会として、多数の設備の維持管理に日夜奮闘しながら、保全職場で発生する問題の解決に向けて日々活動しています。

施設電気部会の喫緊の課題として、新施策の検証があります。昨年3月に行われた「機動的設備保守を図る保全体制」の発足から一

## 要員問題を訴える九州地本技術部会

九州地本技術部会は、門司機関区、小倉車両所、福岡総合鉄道部の3職場、66名の部会員で構成されています。

昨年12月に第26回九州地本技術部会定期委員会を博多発揚ビルで開催し、経過及び1年間の活動方針を決定しました。

全国技術部会・菊地事務長は、「基地廃止やタスクフォースの問題」、九州地本技術部会定期委員会では、「たしるお応援プロジェクト」について中心に挨拶がなされています。

最近の検修職場はタスクフォース・効率化が確実に進められており、要員不足、技術継承が問題になっています。こうした現状の中で定期委員会であったが、質疑時間が足りないうちに成功させました。どの職場も要員不足によって教育



が十分できずにいる現状があると同時に、新規採用が技術職場にない為、技術継承や職場がどうなるかといった不安の声が多くあります。

要員問題に立ち向かえるように九州地本3職場が協力する事を確認すると共に、「たしるお」応援プロジェクトを成功させることを確認して、丸山

う事を会社に訴え、要員計画を明確にさせ、1人でも多くの新規採用者を確保したい思います。

その他にも、1月1日から線路設備実施基準が改正されました。大きな点は、運転中止値が新設され、保守管理の限度値が明確化しました。しかし、運転中止値の超過を発見したら、整備が終わるまで列車を抑止させるため、他系統にも大きく影響してきます。

そして今年、忘れてならないのは「たしるお」の完結です。全国施設電気部会としても、部会組織の強化を目指し「たしるお」の貫徹に向けて共に闘いましょう。

# 新春クロスワードパズル 当選者発表!!

答え：コスタリカ



たくさんのご応募ありがとうございます！  
厳正な抽選の結果、  
右図の方が当選となりました!!

おめでとうございます

景品については地本を通じてお送りします。景品の中身は到着をお楽しみに!

全 労 済 賞	鉄道ファミリー賞		貨物労組賞		Bコース		Aコース				
	北海道地本	北海道地本	北海道地本	北海道地本	東北地本	東北地本	東北地本	東北地本			
木村 真綾様	笹本 浩之様	成田 康人様	田原 洋一様	小池 慎一様	島田 朋彦様	朝倉 由広様	中山 武様	鈴木 徹様	堀内 宗範様	内海 秀樹様	山田 尚平様

## Young Style

その先にあるもの



関西地本青年部 青年部長 齋藤富巳雄

前回、ヤングスタイルを書いた時は組織について触れたので、今回は自分が感じている事を書きたいと思います。

現在、貨物労組の全機関、全組織の総力を挙げて「たしるお応援プロジェクト」の貫徹に向けて取り組んでいます。関西地本青年部も取り組みを進めていますが、大変厳しい状況です。もちろん青年部員一人ひとりに紹介者カードが行き渡っていますが、たしるおを訴える役員の意識にも問題があると感じています。話をすると「たしるおが今まで何をしてくれたのか?少しも良くならないではないか!政治活動よりもっと賃金、手当の事をすべき。高い組合費を払っているのに何をやっているんだ!」と厳しい声がかんできます。正直、心が折れそうになることも多々あります。ましてや自分の親や兄弟にも断られた時はどうしようかと思いました。しかし、そこで立ち止まっては何も解決しませんし、私たち青年部の将来が良くなることはありません。だからこそどんなに辛くても歩みを止めるわけにはいきません。相澤委員長の貨物労組新聞新年号の年頭所感にもあるように、たしるおが居なくなればJR貨物は無いと言っても過言ではありません。

今、改革のたたかいと「たしるお応援プロジェクト」は両輪のたたかいです。一方が出来て一方が出来ないということは無いと思います。確かに、賃金闘争や手当闘争と比べるとやりたくない気持ちは分かります。しかし、今が一番大切な時期なのです。辛く苦しい時期を多くの仲間と共に乗り越え、「たしるお応援プロジェクト」の貫徹を目指して一杯、共にたたかっていきましょう!

# 安全祈願



2016年1月5日(火)  
東京都足立区・西新井大師  
(五智山編照院繰糸寺)

組合員と家族の安全を祈願しました。  
決戦の年と共に  
元気よく頑張ろう!